

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成25年3月28日 (2013.3.28)

【公開番号】特開2010-282183(P2010-282183A)

【公開日】平成22年12月16日 (2010.12.16)

【年通号数】公開・登録公報2010-050

【出願番号】特願2010-100508(P2010-100508)

【国際特許分類】

G 0 9 F 9/30 (2006.01)

G 0 9 F 9/00 (2006.01)

H 0 1 L 27/32 (2006.01)

H 0 5 B 33/14 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

H 0 5 B 33/02 (2006.01)

G 0 2 F 1/1345 (2006.01)

【F I】

G 0 9 F 9/30 3 0 8 Z

G 0 9 F 9/00 3 4 6 Z

G 0 9 F 9/30 3 3 8

G 0 9 F 9/30 3 6 5 Z

H 0 5 B 33/14 Z

H 0 5 B 33/14 A

H 0 5 B 33/02

G 0 2 F 1/1345

【手続補正書】

【提出日】平成25年2月6日 (2013.2.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

走査線及び信号線が交差する表示部を有する可撓性の表示パネルと、
前記可撓性の表示パネルの一端部を拘持する支持部と、
前記支持部に設けられ前記信号線に信号を出力する信号線駆動回路と、
前記表示パネルの可撓面に前記支持部と略垂直方向に配設され前記走査線に信号を出力する走査線駆動回路とを有することを特徴とする表示装置。

【請求項 2】

請求項 1 において、
前記表示パネルは前記支持部の長手方向に沿って応力集中領域を有し、
前記応力集中領域は前記表示部と前記支持部との間に設けられていることを特徴とする表示装置。

【請求項 3】

請求項 1 において、
前記走査線駆動回路は、複数の回路部を有し、前記複数の回路部は互いに離間して設けられていることを特徴とする表示装置。

【請求項 4】

請求項 3 において、

前記複数の回路部が離間する部位において、前記支持部の長手方向に沿った応力集中領域がさらに設けられていることを特徴とする表示装置。

【請求項 5】

請求項 1 乃至請求項 4 のいずれか一項において、

前記支持部は、前記信号線駆動回路に加えて、バッテリー、アンテナ、CPU、メモリのいずれか一を有することを特徴とする表示装置。